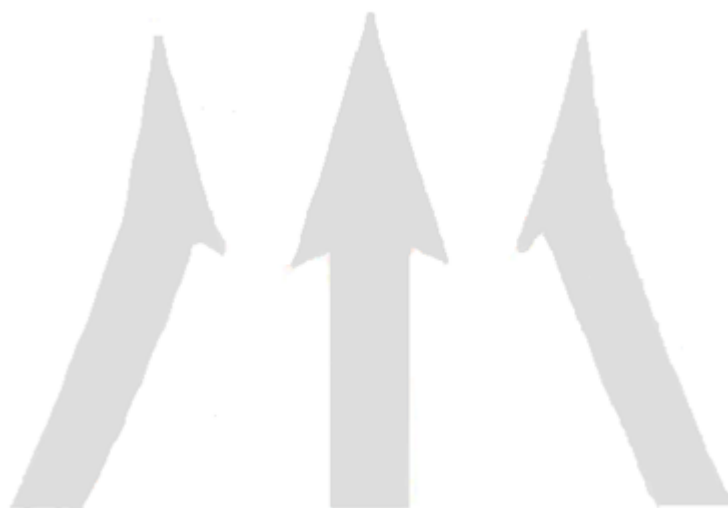


令和 7 年度静岡県高等学校

定時制通信制体育大会

秋季バドミントン競技

期 日	令和 7 年 10 月 18 日（土）・10 月 25 日（土）
会 場	静岡県立三島長陵高等学校 静岡県立静岡中央高等学校
主 催	静岡県高等学校体育連盟 静岡県教育委員会
後 援	（公財）静岡県スポーツ協会
主 管	静岡県高等学校体育連盟定通制バドミントン専門部



令和7年度 静岡県高等学校定時制通信制体育大会秋季バドミントン競技 プログラム

期 日 令和7年10月18日(土)：ダブルス 令和7年10月25日(土)：シングルス

会 場 静岡県立三島長陵高等学校
三島市文教町1丁目3-93

静岡県立静岡中央高等学校
静岡市葵区城北2-29-1

日 程 開 場 8:45
練習開始 9:00～
監督会議 9:30
表 彰 全行程終了後

開 場 8:15
練習開始 8:30～
監督会議 8:50
表彰・閉会式 全行程終了後

10月18日(土)

※下記の練習時間以外の練習・空きコートの使用は禁止とする

	コート1		コート2		コート3		コート4		コート5		コート6		
8:45	開場												練習時間
9:00	三島長陵		伊豆伊東		三島長陵		富士		富士宮東				
9:10	静岡中央		磐田南		科学技術		清水東		島田商業				
9:20	クラーク浜松		クラーク浜松		クラーク浜松		榛原		浜松北		榛原		
9:30	笹田学園		大平台		笹田学園		鹿島浜松		浜松工業		鹿島浜松		
9:50	開会式												試合開始
10:00	BD 1		BD 2		BD 3		BD 4		BD 5		BD 6		
	以下の試合順で空きコートに入る												
	BD 7		BD 8		BD 9		BD 10		BD 11		BD 12		
	BD 13		GD 1		BD 14		BD 15		BD 16		BD 17		
	BD 18		BD 19		BD 20		BD 21		GD 2		GD 3		
	GD 4		GD 5		BD 22		BD 23		BD 24		BD 25		
	*最後の試合が終わってから、15分後に準々決勝に入る。												
	BD 27		BD 26		GD 7		GD 6						
	BD 29		BD 28		GD 9		GD 8						
	*必要な場合のみ、2位決定戦												準決勝
	表彰式												決勝、3位決定戦

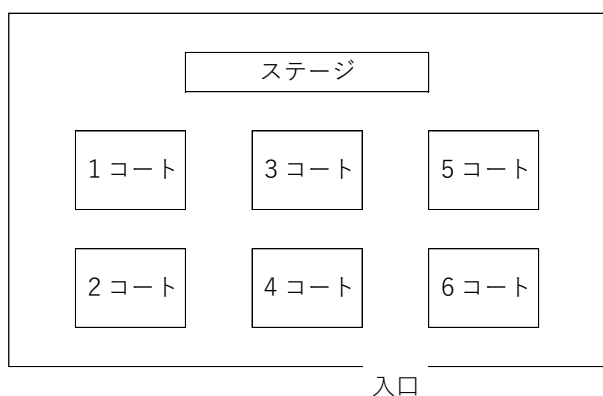
10月25日（土）

※下記の練習時間以外の練習・空きコートの使用は禁止とする

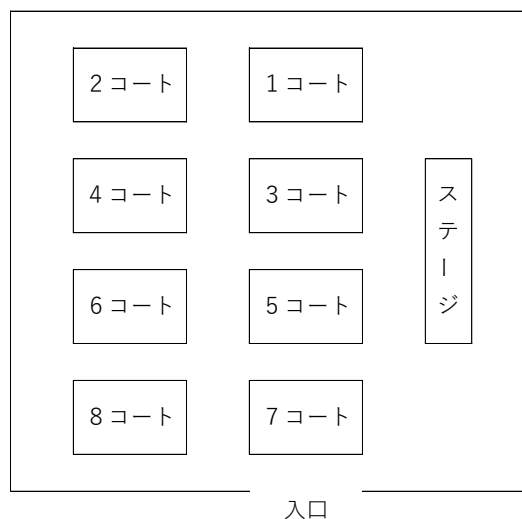
	コート1	コート2	コート3	コート4	コート5	コート6	コート7	コート8	
8:15	開場								練習時間
8:30	静岡中央	富士宮東	静岡中央	富士宮東	磐田南	清水東・精華清水	磐田南	科学技術	
8:40	クラーク浜松	クラーク浜松	クラーク浜松	島田商業	榛原	三島長陵	榛原	三島長陵	
8:50	鹿島浜松	大平台	鹿島浜松	伊豆伊東	浜松工業	浜松北	浜松工業	浜名	
9:10	諸連絡								試合開始 <

会場図

三島長陵高校（ダブルス）



静岡中央高校（シングルス）



組合せ プログラム P 6 ～ 9 参照

役割分担

- ・大会資料作成等 新村（科技）、大石（浜北）、青木（伊東）
- ・結果入力作業 青木（伊東）、東部地区の先生方
- ・受付 結果記入 大石（浜北）、西部地区の先生方
- ・放送 呼び出し 中部地区の先生方
- ・会場巡回 中部地区の先生方

競技上の注意

令和 7 年度(公財)日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規定による。

(1) 大会運営規定及び注意事項

① 全般的事項

- ア 引率教員は、選手が揃い次第受付を行うこと。受付時には、”職印の押された申込書を本部に提出する。
- イ 競技進行の円滑を図るため、時間の厳守に協力すること。
- ウ 試合進行状況により、試合開始時刻及びコートを変更することがある。放送に注意すること。
- エ 正規ポイントでの実施とする。
- オ インターバル中のアドバイスは、監督、コーチなど同時に 2 人までとする。
- カ シャトルがバスケットゴールに触れた場合は、主審の判断でアウトとする。
- キ マッチ（試合）中の水分補給、汗ふきなどについては主審の許可を得ること。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとする。また、ベンチでの水分補給も認めるが、万が一こぼした場合は該当チームが拭き取ること。
- ク シャトルの交換は、主審の承認を必要とする。
- ケ 次のような違反行為に対しては厳正に対処する。（競技規則第 16 条）
 - a 息切れなど、体力回復等の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
 - b 主審の許可なしにコートを離れること。
 - c 故意にシャトルに手を加えたり、破損させたりする行為。
 - d 審判員や観客に対して横柄な振る舞い、下品で無礼な態度、言動。
 - e 見苦しい着衣でプレーをすること。
 - f ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発したりするなどの不品行な振る舞い。
- コ プレーヤーは、学校名の入ったものを着用すること。
- サ 試合中の事故の際、「コートに入ることが許されるのは、通常医師などのほか必要とされる競技役員」（公認審判員規定 3 条第 5 項（8））に限られている。
- シ シャトルがインプレーでない（競技規則第 15 条参照）ときに限り、プレーヤーはマッチ中、アドバイスを受けることができる。
- ス 「抗議」や「異議」は一切認めない。疑問がある場合には、礼儀正しく主審に質問すること。団体戦の場合は、監督または当該選手、個人戦の場合は、当該選手のみ認める。
- セ 試合中にモバイル機器を使用したアドバイス・コーチングを受けることを禁止する。
- ソ その他は監督会議の打ち合わせのとおりとする。
- タ ケガや筋痙攣等による治療・待機時間は 10 分未満とする。10 分を超えた場合は棄権とする。

② 試合について

試合開始前の練習は、トスの後、主審の指示により 3 分間の練習を認める。

ア 試合が連続する場合は、15 分間のインターバルをあたえる。

イ 主審は負け審制とする。線審は試合をする学校から 1 名ずつ出すこととする。

ウ コートは指定していないので、放送には十分注意すること。

その他

(1) 会場使用後は、各学校責任を持って綺麗にし、各自の出したゴミは必ず持ち帰ること。

(2) 競技場内での飲食は厳禁とする。

(3) 競技場以外でのシャトル打ちは厳禁とする。

(4) 写真撮影時のフラッシュの使用・動画撮影時のライトの点灯は厳禁とする。

(撮影をする際は、該当校顧問と該当選手に許可を得ること)

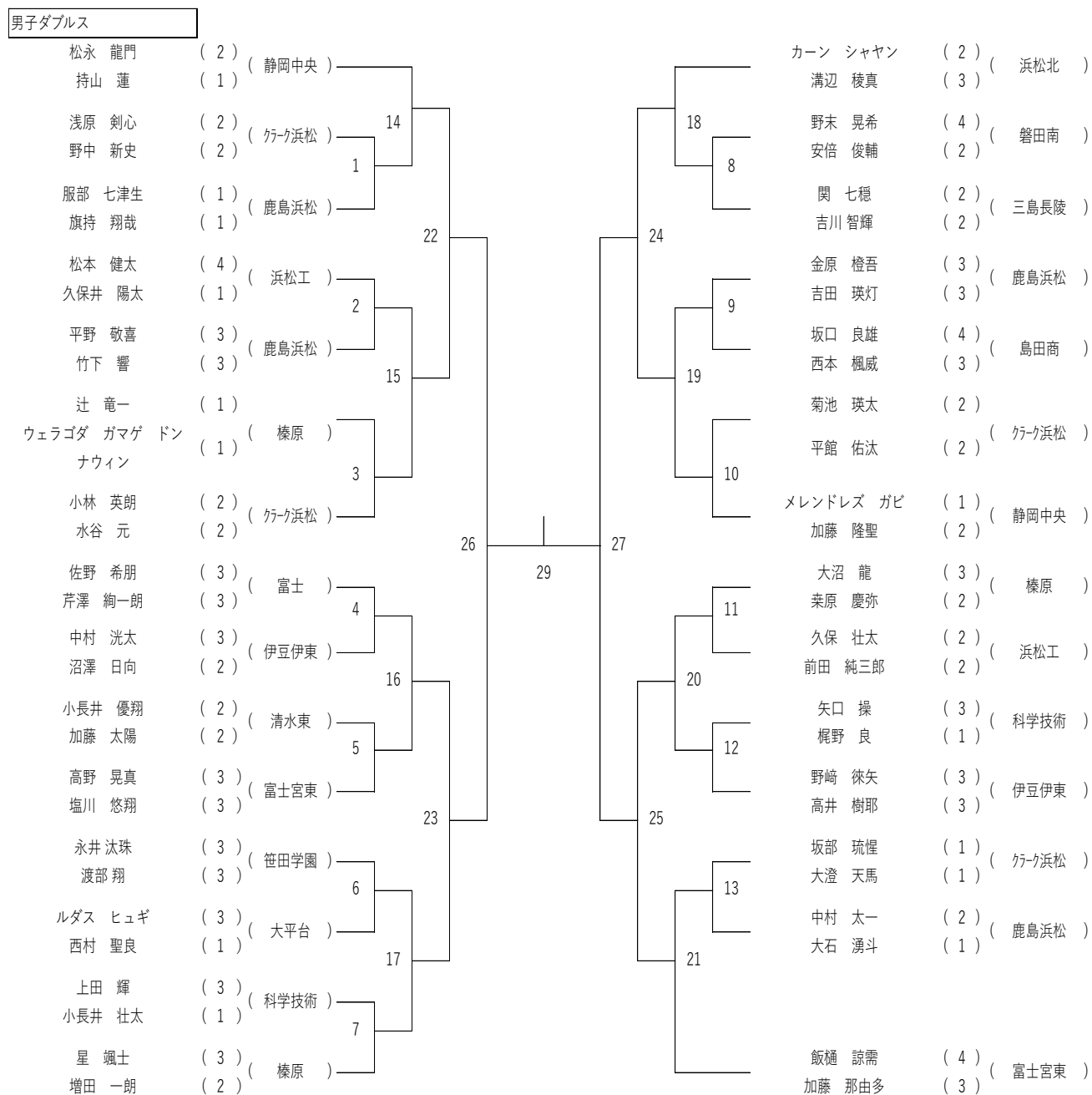
(5) 応援は拍手と声のみとする。(鳴り物は禁止)

(6) 会場施設内の電源（コンセント）の使用は一切禁止とする。

(7) 競技時の選手の負傷については主催者が応急の処置はするが、その後は各自（各校）で処理する。参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。

(8) 貴重品の管理は各自責任をもって行うこと。

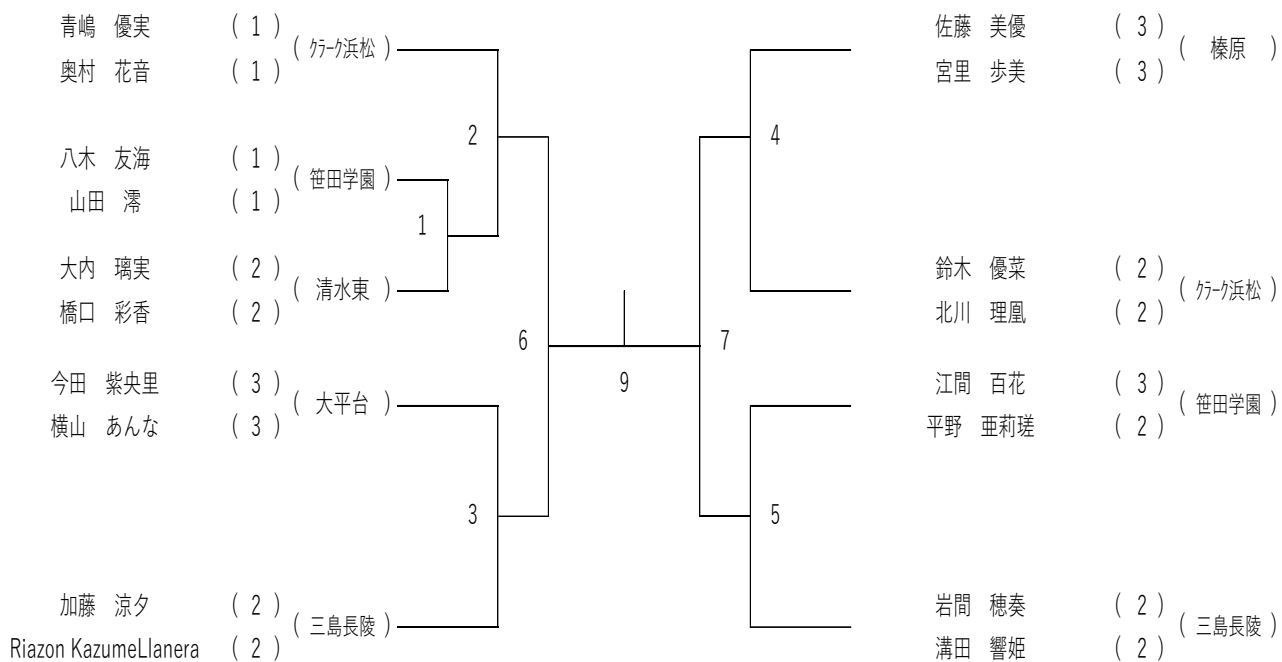
組み合わせ 10月18日(土)



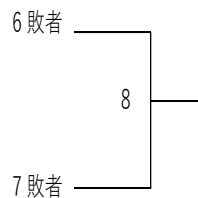
3位決定戦



女子ダブルス

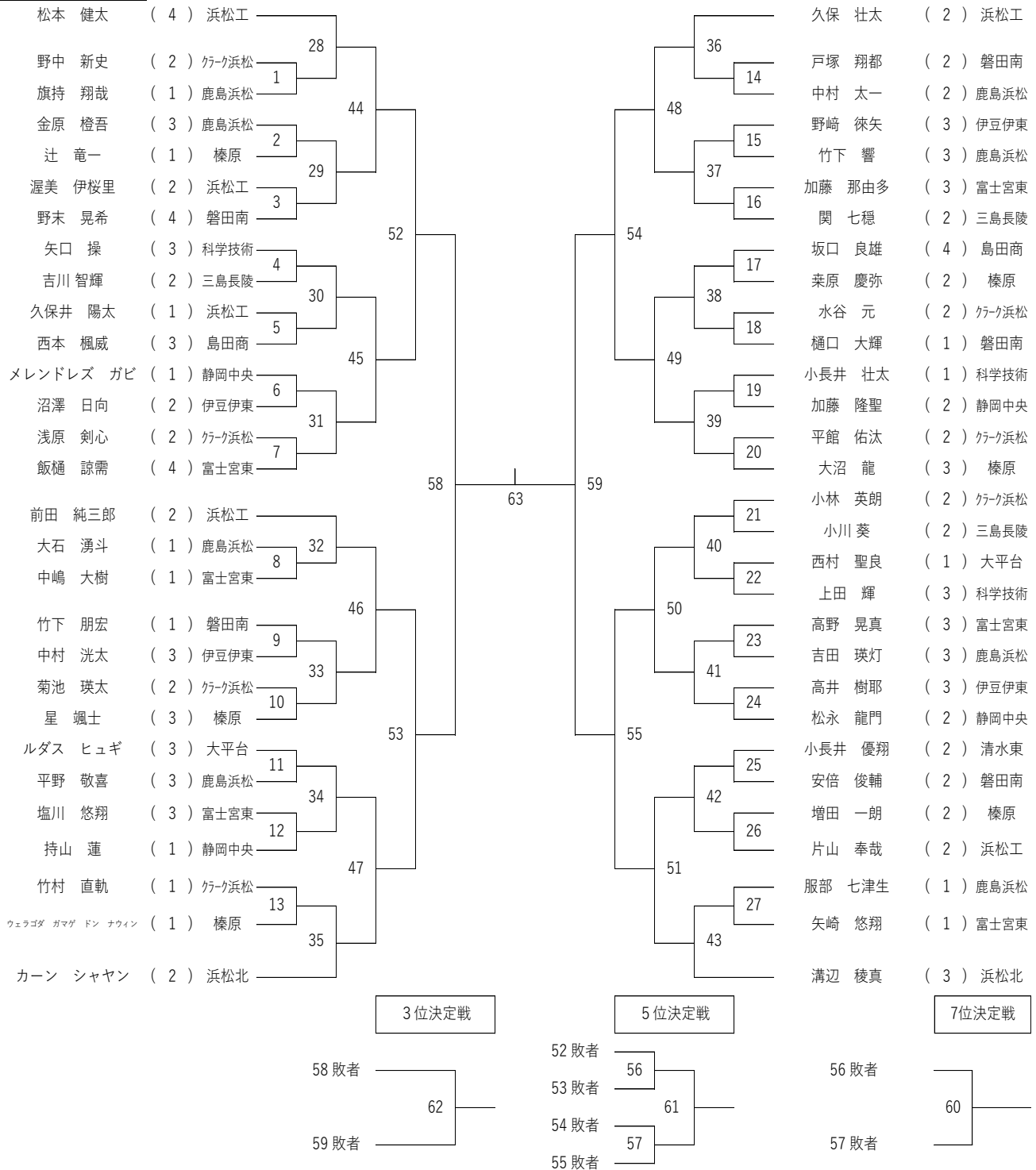


3位決定戦



組み合わせ 10月25日(土)

男子シングルス



女子シングルス

